

## 玄海原子力発電所と福島第一原子力発電所の比較

### 玄海原子力発電所

平成23年1月末現在

	1号機	2号機	3号機	4号機	
装荷量	約48トン	約48トン	約89トン	約89トン	274 トン
電気出力(万kW)	55.9	55.9	118	118	348 万KW
運転開始	1975年10月	1976年3月	1989年3月	1997年7月	
熱出力(万kW)	165	165	342.3	342.3	
型式	PWR	PWR	PWR	PWR	
種別	低濃縮(約4～5%)二酸化ウラン	低濃縮(約4～5%)二酸化ウラン	低濃縮(約4%)二酸化ウラン/ウラン・プルトニウム混合酸化	低濃縮(約4～5%)二酸化ウラン	

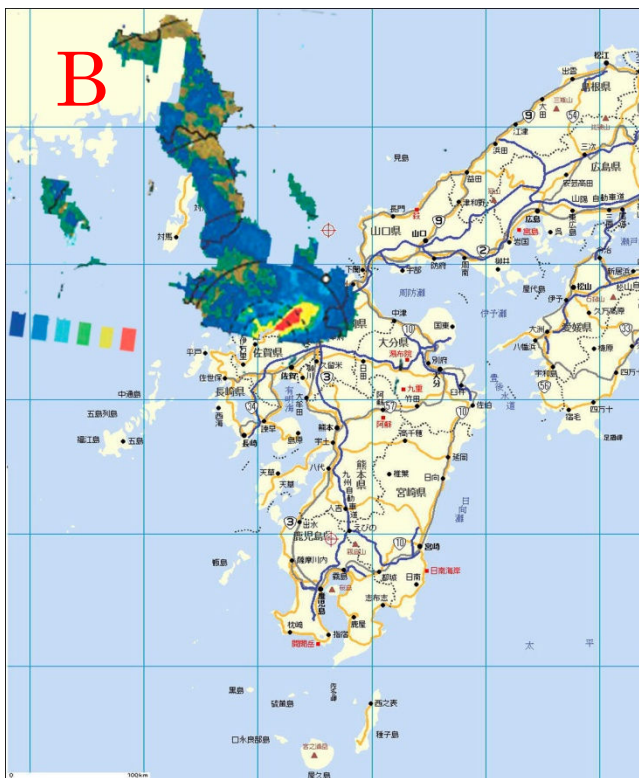
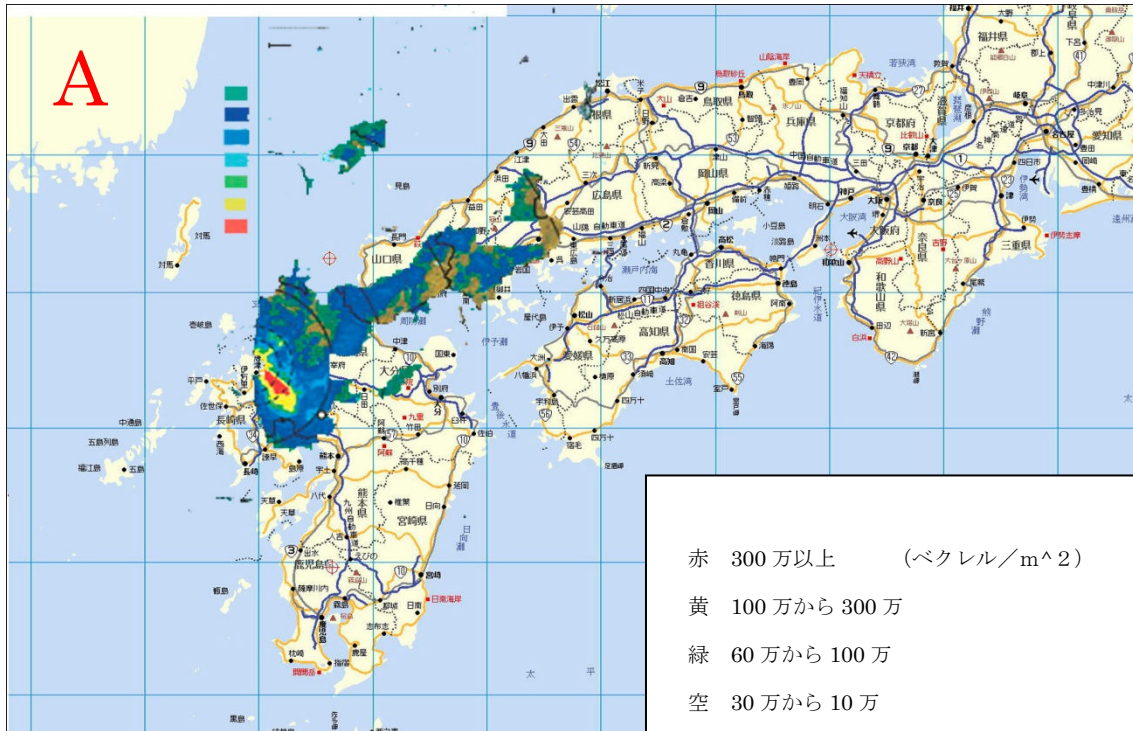
### 福島第一原子力発電所

	1号機	2号機	3号機	4号機	
ウラン装荷量(t)	69	94	94	94	351 トン
電気出力(万kW)	46	78.4	78.4	78.4	281 万KW
営業運転開始	1971年3月	1974年7月	1976年3月	1978年1月	
熱出力(万kW)	138.0	238.1	238.1	238.1	
炉型	BWR	BWR	BWR	BWR	
格納容器型式	マークI	マークI	マークI	マークI	

## 玄海原発仮想事故による放射能汚染予測

福島第一原発事故の汚染地図を移動回転した。尺度の緯度補正はしていない。

- (A) 風が福島の場合と反対（西風）であるとした。  
 (B) 風が福岡に向いていたとした。



赤 300 万以上 (ベクレル/m<sup>2</sup>)

黄 100 万から 300 万

緑 60 万から 100 万

空 30 万から 10 万

青 10 万から 30 万

紺 6 万から 10 万

3 万から 6 万

1 万から 3 万

1 万以下

東京電力福島第1原発事故で放出された放射性セシウムの土壌蓄積量を航空機（ヘリコプター）から測定し、汚染マップを作製している文部科学省は（2011年11月）11日、岩手、山梨、長野、静岡、岐阜、富山の計6県分を公表した。岩手県一関市や奥州市、長野県佐久市、軽井沢町、佐久穂町と山梨県丹波山村などの一部地域で、放射性物質の量が半分になる半減期が2年のセシウム134と、半減期30年のセシウム137を合わせて、1平方メートルあたり3万ベクレルから10万ベクレルを計測した。（毎日新聞）

<http://mainichi.jp/select/today/news/20111111k0000e040071000c.html>